

設計課題

防災学習のできるコミュニティ施設

I 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地に防災学習のできるコミュニティ施設を計画するものである。計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- ① 生涯学習部門、コミュニティ部門及び管理部門、その他を適切にゾーニングする共に、各部門の動線に配慮した計画とする。
- ② 自然採光による明るい吹抜空間を設けると共に、公園からも気軽に利用できる親しみやすい施設を計画する。

1 敷地及び周辺条件

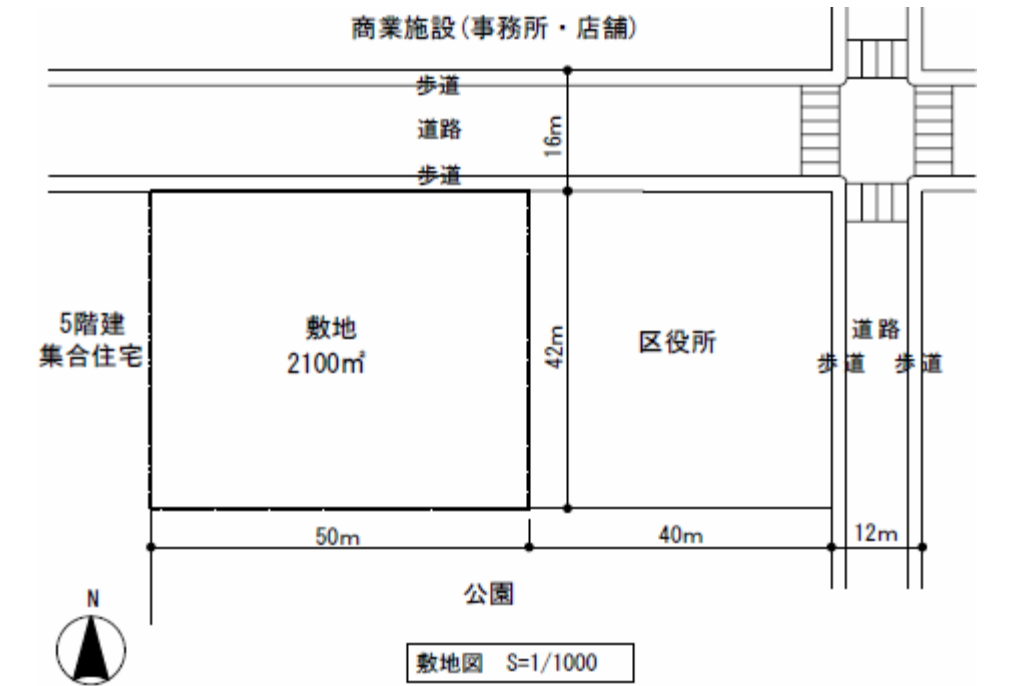
- (1) 敷地の形状、高低差、接道条件、周辺状況等は、下図の通りである。

① 北側--- 道路(幅員 16m)を挟み、商業施設(事務所・店舗)がある。

② 東側--- 区役所がある。

③ 南側--- 緑豊かな公園があり、景観は良好である。

④ 西側--- 5階建集合住宅がある。
- (2) 敷地は、道路及び隣地との高低差は無いものとする。また、必要に応じて歩道の切り開きは、一箇所当たり 6m までできるものとする。
- (3) 敷地は、準住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は 60％、容積率の限度は 200％である。なお、日影についての特別な配慮はしなくてよい。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好である。
- (6) 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよいものとする。



2 建築物

- (1) ラーメン構造による鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造としてもよい)、地上 3 階建とし、地階は設けないものとする。
- (2) 床面積の合計は、2800 ㎡以上、3200 ㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラス等は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 主要な階段及びスロープについては、次の通りとする。

① 階段は、幅を 1.4m以上、けあげの寸法を 16cm 以下、踏面の寸法を 30cm 以上とする。

② スロープは、幅を 1.5m以上、勾配を 1/12 以下とする。
- (4) 設備については、次のとおりとする。

① 空気調和設備は、単一ダクト方式と個別方式とを併用する。

② エレベーター(機械室が不要なものとする)は、来館者用として乗用 1 基(ロープ式・13 人乗、かごの床面積は 2.09 ㎡以上)を設ける。

3 その他の施設

- (1) 屋外テラスは、次の通り計画する。

① 地上に設けるものとし、まとまったスペース(方形とし、一辺の幅は 5m 以上とする)で、100 ㎡以上(ピロティ部分及び上部に屋根、ひさし等がある部分は算入しない)とする。

② 防災学習コーナーと一体的に利用できるものとする。
- (2) 屋上庭園は、次の通り計画する。

① 1 階又は 2 階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで約 100 ㎡(上部に屋根、ひさし又は上階がある部分は算入しない。)とする。

② 植栽を計画し、ベンチ、テーブルを設置する。

③ 公園の景観に配慮する。
- (3) 駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として 2 台分、サービス用として 2 台分を設ける。なお、車いす使用者用の駐車場は、幅を 3.5m 以上とし、建築物の主要な出入口からの距離ができるだけ短くなる位置に設ける。また、来館者用の駐車場については、近隣の駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (4) 駐輪場は、来館者用として 30 台(1 台当たり 0.5m×2m 程度)を設ける。
- (5) ごみ置場(約 10 ㎡)を設ける。
- (6) 敷地内の通路に設けるスロープは、幅を 1.5m 以上、勾配を 1/15 以下とする。
- (7) (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4 所要室

下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	床面積	特記事項
生涯学習部門	防災学習コーナー	約 250 ㎡	・台風体験・地震体験・消火体験(それぞれ約 50 ㎡)スペース及び防災展示コーナーを設ける。
	図書室	約 250 ㎡	・開架式とし、閲覧室(約 150 ㎡)、書庫、レファレンスコーナー、雑誌コーナー及び受付カウンターを設ける。
	教室(1)	約 100 ㎡	・美術・工芸教室等に利用し、可動間仕切りにより、2 室(50 ㎡/1 室)に分割して、個別に利用できるようにする。
	教室(2)	約 50 ㎡	・各種教室等に利用する。
	講師控室	約 20 ㎡	教室(1)(2)との動線に配慮する。
	3Dシアター	約 200 ㎡	・講演会、講習会等に利用する。 ・160 席(固定式)を確保し、ステージ、スクリーンを設ける。 ・床は平坦とし、天井の高さは、6m 以上とする。
	準備室	約 20 ㎡	・3Dシアターに付属し、控室として利用する。
	3D映写室	約 30 ㎡	・調光室、音響調整室を兼ねる。
	ホワイエ	約 100 ㎡	・3Dシアターに隣接する。
	ラウンジ	適宜	・ホワイエに隣接し、公園の景観に配慮する。
コミュニティ部門	観覧席	約 30 ㎡	・3D シアターのステージを見下ろせるよう計画する。
	倉庫	適宜	
	会議室	約 100 ㎡	・地域集会などに利用する。 ・可動間仕切りにより、2 室(50 ㎡/1 室)に分割して、個別に利用できるようにする。
	サークル室(2) 3 室	計約 75 ㎡	・文化・スポーツサークルの打合せ等に利用する。 ・1 室あたり約 25 ㎡とし、3 室設ける。
	湯沸室	適宜	・会議室・サークル室との動線に配慮する。
	浴室	約 150 ㎡	・男女別に設け、それぞれ約 75 ㎡とする。 ・脱衣室を設け、トイレ(洋風便器 1 穴)を併設する。 ・受付カウンターを設ける。
	休憩室	約 50 ㎡	・屋上庭園に直接出入りし、公園の景観に配慮する。
	自販機コーナー	適宜	・休憩室に隣接する。
	リネン庫	約 20 ㎡	・管理動線に配慮する。
その他	倉庫	適宜	
	エントランスホール	約 100 ㎡	・吹抜を設ける。 ・公園からも利用できるよう計画する。
	レストラン	約 150 ㎡	・公園からも利用する。 ・厨房及び従業員用便所を設ける。
	機械室	約 150 ㎡	・地上 1 階に設ける。
	来館者用便所	適宜	・各階に設け、車いす使用者用便所を併設する。
管理部門	事務室	約 50 ㎡	・受付カウンターを設ける。 ・湯沸を設ける
	館長室	約 25 ㎡	・事務室に直接出入りする。
	医務室	約 25 ㎡	
	宿直室	約 20 ㎡	・夜間の出入りを管理する。
	湯沸室	適宜	
	スタッフ室	約 30 ㎡	・従業員の休憩に使用し、更衣室を兼ねる。
	従業員用便所	適宜	

(注)上記の床面積の合計(適宜を除く)は、1,995 ㎡となる。

II 要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法は枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼配置図 1/200	① 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積計算に必要な程度)を記入する。
	② 室名等を記入する。
	③ ダクトスペース、パイプシャフトの位置を図示し、それぞれ DS、PS と記入する。
(2) 2 階平面図 1/200	④ 1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ. 断面図の切断位置 ロ. 建築物の出入口 ハ. 駐車場(台数を明示する) ニ. 自転車置場(台数を明示する) ホ. ごみ置場 ヘ. 通路・植栽等
(3)3 階平面図 1/200	⑤ 防災学習コーナー、図書室、教室(1)(2)、3Dシアター、会議室、浴室、休憩室、レストラン、事務室、機械室の床面積を記入する。
	⑥ 屋外テラスは、面積を記入する。
	⑦ 屋上庭園には、面積を記入し、植栽等を図示する。
	⑧ 直下階の屋根及び庇(ある場合のみ)を図示する。
	⑨ 吹抜けとなる部分を図示する。
	⑩ 所要室の境界が壁などで仕切られていない場合は、その境界を明示する。
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、吹抜及び3Dシアターを含み、建築物の立体構成(1 階～3 階)及び屋根形状がわかる断面とする。
	② 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高(3Dシアター及び主要な室)、1 階床高及び室名を記入する。
	③ はり及びスラブの断面、並びに基礎を図示する。

2 面積表

各階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積について、はその算定式も記入する。